

市議会 だより ごみ収集有料化、22日に答申?!

昨年11月、市長から「ごみの有料化について」諮問を受けた和歌山市廃棄物対策審議会（市議、学識経験者、市民団体代表、廃棄物処理業者、市職員の14人で構成。日本共産党の森下）

8月2日（土）市民生活協組合員ホールで開かれていた「戦争展わかやま」を私

2008 戦争展わかやまで見つけたもの

ひめたも見に行きました。戦争中のくらしなどの展示が印象的でした。

昨年11月、市長から「ごみの有料化について」諮問を受けた和歌山市廃棄物対策審議会（市議、学識経験者、市民団体代表、廃棄物処理業者、市職員の14人で構成。日本共産党の森下）

この水まで3回、会議を開き議論してきます。森下議員によると、次回は8月22日に開かれること、ここで「答申」を出したいとの連絡があったとのことでした。

会場で初（S22）年に憲法普及会が発行した「新しい憲法 明るい生活」という冊子の複製版を売っていました。次の文章は、その冊子の憲法9条の説明です。

◇もう戦争はしない
私たちは日本国民はもう2度と再び戦争をしないと誓った。（第9条）

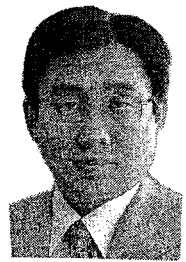
これは新憲法の最も大きな特色であって、この水ほどは「きり平和主義を明らかにした憲法は世界にもその

くんにちは 日本共産党



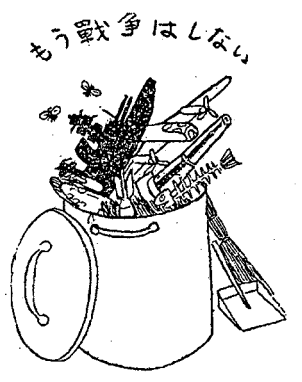
福田首相が、日、内閣を改造しました。その夜の会見で首相は「生活改善を実感できる政策の実現を重視した」と、改造の考え方をのべました。

あまりにも明白い説明です。改造にもなって、政策を変えるという表明はありません。会見では「消費税なしで財政再建はできない。国民が安心できる社会保障制度も成り立たない」といふなど、増税の姿勢をあらわにしました。高齢化などによる社会保障費の自然増分の2千2百



くにげ 秀明 (衆院1区・比叡)

億円のカットを来年度も強行し、後期高齢者医療制度は「円滑な運営」をすすめる方針の福田内閣。「生活改善の実感」など、この国の話か、といったくなります。



例がない。

私たちは戦争のない、ほんとうに平和な世界をつくりたい。このために私たちは陸海空軍などの軍備をふりすてて、全くはだか身となって平和を守ることを世界に向かって約束したのである。わが国の歴史をふりかえてみると、いままでの日本は武力によって国家の運命をのびそうという誤った道にふみ迷っていた。殊に近年は政治の実権を握っていた者たちが、この目的を達するために国民生活を犠牲にして軍備を大きくし、ついに太平洋戦争のような無謀な戦いをいどんだ。その結果は世界の平和と文化を破壊するのみであった。

しかし太平洋戦争の敗戦は私たちを正しい道へ案内してくる機会となったのである。

新憲法ですべての軍備を自らふりすてた日本は今後「もう戦争はしない」と誓うばかりでは足りない。進んで芸術や科学や平和産業などによって、文化国家として世界のノ等国になるよう努めなければならぬ。それが私たち国民の持つ大きな義務であり、心からの希望である。

世界のすべての国民は平和を愛し、2度と戦争の起こらぬことを望んでいる。私たちは世界にさきかけて「戦争をしない」という大きな理想をかかげ、これを忠実に実行するとともに「戦争のない世界」をつくり上げるために、あらゆる努力を捧げよう。これこそ日本の理想であり、私たちの誓いでなければならぬ。